

發行編輯人 川崎文治 本社下同番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷部

# 警 報 新 聞

定部金貳圓 廣告費五號十一行 印刷費五號十一行 零售每份五分

電話六三〇番

刊夕日二月一十

### 第二貴族の對策

田中五郎

第二貴族院改革に就ては先輩同志は熱心にこれを主張し各地に於て演説會を開きつゝあるが至る處非常なる盛會であつて吾人の主張の一日と國民の間に徹底せられつゝあるは極めて喜ぶべき現象である我々の主張する案に就て幾度か出陣で發表せるを以て今日改めてくゞしく云ふを避けるのであるが只單に院外に於て言論のみ氣勢を擧ぐだけるでは實効を伴ふこと極

めて少いのである更により吾人の考案を實現する爲めには先づ以て院内の空氣を濃厚にせねばならぬのであつて自然來るべき第五十一議會に於て如何にすべきやといふことが問題となつて來るのであつて同志の一人たる林田代議士の如きは貴族院令十三條の徹廢及互選規則の改正に就て先づ第一に貴族院の反省を求むべき對策を講ずべしと主張して居る程であるが併しながらこれも議會開會が切迫してから始めて具體化すべき事柄であつて今日に於ては未ださほどの問題とはなつて居らぬのである處で第一貴

族院改革といふものは到底吾人の期待に添はざるものであるがこれだけの事をなさしむるにも既に非常なる努力を費したのであるから吾々の主張を貫徹せんとせば更に大なる努力を必要とするのである茲に幸ひなることには普選が實現せらるゝことになつた今日迄は一部階級の政治であつただけに吾々の如き意見は容易に國民の頭腦に入らなかつたのであるけれども普選の時代に於ては國民は必ずや我等の主張に共鳴するに相違ない

(つづく)

### 助手募集

男子(十五歳ヨリ)各一名  
女子(十八歳マデ)各一名  
右至急募集す本人來談の事

平町南町(電話四十七番)  
停留場 警城銀行向

## 遠藤パン

小僧さん入用(有聲座隣) 喰べてたいしい

### 品質優良 米精内関

警城セメント會社特約店  
釜屋商店

警城平町五丁目電話一三九番

### 食肉の好季

一般の御家庭に幾分なりとも貢獻致したい微意を持ちまして品質第一を商號とする弊店の食肉を是非御進め致します

牛豚肉問屋  
大塚吉藏商店  
平町四丁目川岸通り

### 親切第一

營業課目

裝飾器具  
電球・電線・ベルト類  
芝浦(モートル)特約店  
日立(トランス)特約店  
電話機及各種乾電池  
通信用器具  
電機並諸機械修繕  
致マス

福島縣平町平治町  
平電商業會  
電話一三二番

### 新品入荷 いたしました

賣切れにならぬうちお求めを……

## 森試食用ビスケット

高級品十種類輸入……

一罐二十錢

## ヤトモツマ

番四一二電

品質優良に勝る商略なし

警城セメント會社特約店  
釜屋商店

警城平町五丁目電話一三九番

### 醬油と味の精

福島縣平町  
鹽屋山崎本店  
電話 營業部専用一〇番  
一般用二七番

上野上車坂町四二  
東京支店  
電話長淺草五七二八番  
振替東京六八三二二番

### 松島名産

カキ貝 料理  
カキフライ 平町  
カキなべ 一の井  
其他品々  
吉例賣初 電話一六七番

### 平町宿屋店員同志會

大正十四年十一月二日

謹告

本會成立に關しては各位の御同情と御援助を蒙り候段乍略儀以紙上篤く御禮申上候御蔭様に依り本日無事發會式を舉行仕り候間左様御諒承成被下度候就ては從來二三の不良の者等の爲め驛前旅館番頭には兎角の惡評も有之候へしが本會成立の上は努めて一般御客様には親切に業務勉勵仕可く候間何卒從前の通り御愛顧を賜り度く御禮を兼ね伏して御願申上候 敬具

### 養命酒

山野邊藥局  
福島縣平町五丁目 藥劑師 山野邊東次郎

### 冬物

新型帽子  
ベローア拾四、五圓  
フアー七、八圓ヨリ  
ツール二圓五拾錢ヨリ

折中  
ホック帽  
五、六拾錢ヨリ  
三圓位マデ  
ワイシヤツ  
一圓九拾錢ヨリ  
拾圓位マデ

ツルヤ  
平四丁目

### 審査長の投票

#### 机上に山を築く

##### 最高點は原精一氏

本社には直ちに囑託方交渉

本社が近く開催すべき豫定の商並び自慢會は各方面より  
の人氣を呼びよせよう趣向に依つて當日は優勝者を決定  
するかと云ふ様な質問が續々寄せらるるの盛況である  
従つて自慢會に重要な位置を占むべき審査長に就いても  
各方面の興味を唆つたものの如く締切日の卅一日には郵  
便配達夫が一抱へもの投票ハガキを持ち込んだ程で昨日  
得點數を調査の結果は

- 一、二八六票 原精一君
  - 八七二票 佐藤武之君
  - 七〇票 萩原義雄君
  - 五一票 森合芳男君
  - 四二票 織田豊太郎君
- 以下省略……

と云ふ順序を示し審査長として多數から囑託される第一  
人は原精一君と決定した、本社は直ちに同商科醫に審  
査長囑託を交渉し受託次第同催しの具体的方法を紙上に  
發表する

### 平町の宿屋 店員が結束

#### 本日發會式

平町宿屋の店員中には時々  
俗に稱す渡り者が入り込む  
事あつて真面目に働いて居  
る者迄も世間から種々誤解  
を蒙り迷惑が甚だ多いので  
不良分子の絶滅を圖つて相  
互の親睦向上に努めんと二  
三の諸氏が奔走の結果平町  
宿屋店員同志會を組織し本  
二日午後一時より平警察署  
樓上に創立總會を開き櫻村  
署長の訓示其他諸般の協議  
等を爲し終つて午後三時よ  
り水戸屋旅館に懇親會を開  
いた因みに役員は左記の如  
くである

### 一反歩六石

#### 稲の收穫が 稀有の成績

石城郡當局に於ては昨今管  
内各村に於て稲の坪刈り試  
験中で廿九日は豊間、高久  
の兩村に就て行つた處同村  
長小野淺治氏所有大字上高  
久地内田地の成績は坪當り  
四升の重量一貫百匁を  
算し精白後の收穫一反歩六  
石と云ふ稀有の成績で一同  
その珍らしい出來榮に驚い

### 往復運轉に 平機關庫

#### 授與式を舉行

平驛の機關庫は管内各種の  
競技に常に優を拵いて居る  
が去十日から十四日まで東  
京鐵道局の主催で水戸高萩  
間に行はれた貨物列車の往  
復運轉競技に於ても同機關  
庫の代表機關手橋源次郎助  
手橋田無兩氏が一等を抜き  
優勝旗及び賞牌賞品の授與  
を卅日午前九時平機關庫研  
究室であげられたが同競技  
五等迄の受賞者は左の如く  
である

- ▲一等平機關庫、二等田端同上、三等千葉、四等

### 食用……

### 蛙の夜逃げ

#### 神谷の分場で

石城郡神谷村縣農事試驗場  
分場では昨年中食用蛙五十  
尾を飼育中であつたがその  
後逃げたもの死んだものを  
除いて二十尾残つてゐた處  
數日前一尾も残らず逃出し

### 青年辯論の受賞者

#### 磐中主催の大會にて

既報警城中學校主催の郡下  
青年學生辯論大會は昨日公  
會堂に激刺され發轉たる青  
春の意氣を強調したが審査  
の結果左の如く受賞者を決  
定した

- (一等) 争闘に耐える闘主 平 延友管波義夫(二等) 日 米關係と我國民の自覺、平 青年樹田幸三郎(三等) 黎明へ平 窪青年吉野富衛(四等) 我國民性と青年の自覺、草野青年渡邊竹雄(五等) 現代青年の使命内 郷青年野木松彌

### 一の井のカキ

仲田町一の井料理店にては  
吉例に依り今晚から同店獨  
特の稱あるカキ貝の初賣り



### 松茸の料理

▲松茸のユズアエ 前の  
如く松茸を炭火で焼き適宜  
の角切りにしたものを少量  
の醤油と砂糖と味淋とで味  
をつけサツト煮上げ汁を切

### た事を發見した

### 餅のノドに

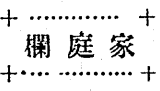
#### 引掛つて死亡

石城郡川前村大字押木農千  
代吉養父遠藤留之助(七)は  
昨卅一日正午頃氏神祭りの  
餅に納豆をからんで食べた  
が喉へ引掛け其儘絶息死亡  
した

### 泥棒はオレ様だ

#### 警城銀行の 意外な陳述

二十七日平驛前で捕へた強  
盗前科三犯齊藤金重(二)は  
の餘罪ある見込みで小熊警  
部補が峻烈な取調べを續け  
てゐたが意外にも左の事實  
を自白した即ち去る九月一  
日午前十一時ころ石城郡高  
久村下高久箱崎半平が平  
町警城銀行に預金せんとし  
て同行待合所に休憩中際を  
窺ひ現金七百餘圓を強奪し  
飛鳥の如く姿を晦ました犯  
人あり平警察署では各方面  
に照會探査中であつたが何  
等の手がかりなく事件は迷  
宮に入らんとしてゐた矢先  
運の盡きた、どうせ又監獄  
の飯を食はねばならぬとい  
か平氣を裝ふた彼は警城  
銀行待合所から七百餘圓の  
大金を強奪して逃走したの  
は俺だと犯人一切を自白し  
たので三十日夕刻平検事局  
に送致し同夜平刑務所未決  
監に收監した



### 松茸の料理

▲松茸のユズアエ 前の  
如く松茸を炭火で焼き適宜  
の角切りにしたものを少量  
の醤油と砂糖と味淋とで味  
をつけサツト煮上げ汁を切

### 興國幹部協議 今春

田中巳之助氏の來平を機と  
して發會した興國會は今秋  
を期して第二回を開き引續  
き隔月に開催する事となつ  
た爲め今二日午後七時より  
平銀行控室にて幹部協議會  
を開く

### 京阪の旅から

#### 十月廿六日 第六信

平商京阪旅行團  
朝七時半宿を出で電車に  
て造幣局に向ふ、貨幣等  
製造の次第から金銀塊等  
に目をくらまして忘れ得  
ぬ印象をさまざま京阪電車  
で京都に急ぐ、商業地と  
しては言ふ可きものはな  
いが所謂山柴水明の地古  
よの史材詩題に豊かな

都。きくだに心の動搖を  
禁じ得なかつた。午前九  
時半伏見桃山下下車して  
やがて肅然たる御陵を拜  
し靈光に打たれつゝ最敬  
禮をした時は午前四時  
十分である。攝政宮殿下  
が我が平町を御通過遊ば  
さる此の日ほとんど同時  
刻に拜するを得たのは誠  
に希遇と云ふべきかそれ  
より乃木神社に参拜し桃  
山から電車で七條に下車  
三十三間堂に行く本尊は  
千手觀音の座像其の左右  
に一千体の觀音像が安置  
せられて御た妙法院に至  
る長く御歴代の天皇の  
御位牌を奉安し又七郷落  
豊臣秀吉等の由緒多く暫  
く此處も辭して案  
内のまに西陣織工場  
や陶器工場等を參觀別格  
官幣大社豊國神社を詣で  
清水寺に向ふ此途中大佛